



議会だより

つなまち

2016年10月20日発行

No.202 Tsunan-Town



わかば保育園運動会

9月定例会 9/12~9/16

決算認定・補正予算	02
一般・特別会計討論・9月議会議決結果	03~04
一般質問(町政を問う)	05~09
発議案・請願陳情意見書	09~10
委員会レポート	11~13
町民登場 この人に会いました	14

津南町議会

検索

町のホームページでも議会だよりをご覧になれます。
発行：新潟県津南町議会 責任者：議長 草津 進

会計名	歳入	歳出	差引
一般会計	78億9,988万円	74億2,555万円	4億7,433万円
国民健康保険会計	13億9,265万円	12億8,515万円	1億0,750万円
後期高齢者医療会計	1億1,518万円	1億1,161万円	357万円
介護保険会計	17億2,492万円	17億1,149万円	1,343万円
簡易水道会計	1億5,964万円	1億3,455万円	2,509万円
下水道事業会計	3億7,827万円	3億4,789万円	3,038万円
農業集落排水事業会計	2億9,642万円	2億7,951万円	1,691万円
病院事業会計	18億0,798万円	18億0,054万円	744万円

平成27年度会計決算

平成28年第3回町議会定例会は、9月12日から16日までの5日間の会期で開かれました。一般質問には8人が立ち、町政全般について問いただしました。障害者福祉施設設置条例、補正予算、平成27年度決算認定などを審議しました。提出議案、議員発議による条例改正、請願・陳情などを賛成多数で可決し、定例会を閉会しました。

平成28年度補正予算

〔一般会計補正予算内容〕

補正額	4,853万円
総額	78億2,779万円
主な歳入増	
臨時福祉給付事業補助金	1,185万円
繰越金	2,527万円
主な歳出増	
民生費 臨時福祉給付金	1,185万円
商工費 S L 運行補助金	218万円
社会教育費 クロカン用乗用草刈り機購入費	869万円

〔主な特別会計補正予算〕

介護保険特別会計	補正額増	4,001万円
	総額	18億1,417万円
病院事業会計	補正額増	214万円
	主な内容	工事他
	主な内容	精算償還金増

委員任命同意案件

教育委員会委員任命

賛成多数で同意



山岸 博之氏(再任)

平成24年10月より教育委員

条例の改正・制定

常任委員任期改正

要旨 常任委員の任期を4年から2年に短縮する。

全員賛成

障害者福祉施設の設置について

要旨 障害者訓練交流の促進を図るため、施設を設置する。

賛成多数



27年度事業
マウンテンパーク津南ロッジの
リニューアル寝室

平成27年度決算討論

一般会計決算

反対討論

栗原 洋子

町立津南病院は最優先課題。町民の命と健康を守ってほしいと提出した住民署名の重みを忘れないで頂きたい。看護師確保への取り組み姿勢は見えない。

ニュー・グリーンピア津南に経営陣を送り込んだ責任の重大さ、リフトに関わる財源問題、スキー場の経営変更など、多くの人達に混乱を与えた。

3年に一度の大地の芸術祭に巨額の経費を投入するなど町政に対する姿勢は、域内所得向上、町民一人一人の暮らしと福祉最優先の施策とはほど遠い。

安全保障関連法、TPP、原発、これら重大な事に対し、町長は反対の姿勢を明確に表明していない。

国の言いなりではなく住民福祉の増進という自治体本来の役割を果たし、町民の命と暮らしを守る防波堤になることを心から願う反対討論とする。

賛成討論

石田タマエ

平成27年度は、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」・「津南町人口ビジョン」と第5次町総合振興計画(後期)を策定して、町制60年を節目とした新たなスタートの年となった。財政面では、自主財源の柱となる町税の増額や寄付金の大幅な増額により、自主財源比率が向上したことは評価できる。強くてどこよりも優しい町づくりの実現に向けて、認証米補助の継続など農作物の品質向上の成果が見られる。また、ジオパーク認定や3年に一度の大地の芸術祭の実施により入込客が増加し、広く津南の魅力を発信できた年となった。更に、町民の健康寿命の延伸を図った取り組みにより、国民健康保険調整交付金の一人当たりの交付額が新潟県トップとなったことはこれらの取り組みの成果と大きく評価する。故郷津南町に誇りを持ち、いつまでも住み続けられる町づくりを目指し、あらゆるものの「育み」を通してどこよりも強くて優しい町の実現を望み賛成討論とする。

国民健康保険特別会計決算

反対討論

藤ノ木浩子

上村町政となり保険料は3年連続の値上げが行われ、一人当たり平均保険料が23年度、74,500円から26年度、93,300円まで引き上げられた。27年度は据え置きとなったが、国保加入者の状況は高齢者や低所得者も多い。年々削減されている国庫補助を減らすことを強く求められている。政府は、低所得者対策として保険者支援制度の拡充で約1,700億円を投入。町には前年比1,270万円増額され、1,895万6千円が計上された。しかし、町は法定外繰り入れを1千万円減らし、5千万円に、更に基金として2千万円を積み立てている。少しでも住民負担を軽減するために、繰り入れを減らさず、国の財政支援を全額保険料引き下げに活用すべきだったと考える。住民の暮らしに寄り添った保険を望む。

介護保険特別会計決算

反対討論

藤ノ木浩子

介護保険法が改正され、「保険

あつて介護なし」社会保障を自助、互助、共助の制度へ変質させる改悪が行われた。一つは要支援1・2の通所介護、訪問介護を保険給付から外すことはサービス切り捨てだ。給付実態は2,200万円。現在のサービス継続を強く求める。保険料も値上げが続いている。上がり続ける保険料を抑える手立てを求める。その他、特別養護老人ホーム入所を要介護3以上に限定。これは、軽度者を施設サービスから排除するもので、介護難民の事態は改善されない。

更に、27年度は所得160万円以上の層には2割の利用料負担の導入。補足給付も厳格化され、そのための手続きとして本人と配偶者の財産を役場窓口にて持参し、コピーするという。プライバシーも何もない。中止するよう国に意見を上げるべきだ。

津南病院事業会計決算

賛成討論

風巻 光明

平成27年度の病院事業は町人口減少の中、医業収益が減少し、過去最高となる一般会計からの補助金を投入した。内容的には会計変更によるものも一因であるが、人件費減、材料費減、経



今年4月からオープンした
訪問看護ステーションと地域連携室

費全般の減などを行い努力がみられる。
新院長を迎えた一年目であり、当年度は病床稼働率低下により療養病床を休床し、看護師を最適に配置し看護師不足を解消。また歯科を廃止するなど「経営診断」を基に将来に向けた経営改善を積極的に進めている。更に看護師確保のため、医学生との面談、PRを計画実施するなど、院長が先頭になり事務長、看護師長など病院スタッフがこの難局を乗り越えるため、全員一丸となつて取り組んでいる姿勢も伺われた。
今後高齢化により病院経営が厳しい状況が予測されるなか、自治体病院の使命である、住民サービスにお一層取り組まれることを期待し、賛成討論とする。

平成 28 年 9 月 議 会 議 決 結 果

●議決結果の記載方法（可＝賛成多数で可決等の場合：否＝賛成少数で否決等の場合）
●表決結果の記載方法（議員個々の賛否：賛成＝○・反対＝×・欠席＝欠・除斥＝除）：議長は表決に参加できません。

議案番号等	件 名	表決状況											議決結果			
		半戸義昭	村山道明	石田タマエ	風巻光明	恩田稔	栗原洋子	中山弘	津端眞一	大平謙一	河田強一	藤ノ木浩子		吉野徹	桑原悠	
議案 61	新潟県市町村総合事務組合規約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	可
議案 62	津南町障害者福祉施設の設置及び管理に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	欠	可
議案 63	津南町税条例等の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	欠	可	
議案 64	平成 28 年度津南町一般会計補正予算（第 6 号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	可	
議案 65	平成 28 年度津南町国民健康保険特別会計補正予算（第 2 号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	可	
議案 66	平成 28 年度津南町後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	可	
議案 67	平成 28 年度津南町介護保険特別会計補正予算（第 2 号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	可	
議案 68	平成 28 年度津南町簡易水道特別会計補正予算（第 1 号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	可	
議案 69	平成 28 年度津南町下水道事業特別会計補正予算（第 1 号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	可	
議案 70	平成 28 年度農業集落排水事業特別会計補正予算（第 1 号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	可	
議案 71	平成 28 年度津南町病院事業会計補正予算（第 2 号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	可	
認定 1	平成 27 年度津南町一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	欠	可	
認定 2	平成 27 年度津南町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	欠	可	
認定 3	平成 27 年度津南町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	可	
認定 4	平成 27 年度津南町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	×	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	欠	可	
認定 5	平成 27 年度津南町簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	可	
認定 6	平成 27 年度津南町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	可	
認定 7	平成 27 年度津南町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	可	
認定 8	平成 27 年度津南町病院事業会計歳入歳出決算の認定について	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	可	
発議案 4	津南町議会委員会条例の一部を改正する条例の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	可	
発議案 5	「介護離職ゼロ」に逆行する、さらなる介護保険の負担と介護保険給付外しに反対する意見書の提出について	○	×	×	○	×	○	○	×	○	×	○	○	欠	可	
発議案 6	免税軽油制度の継続を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	可	
発議案 7	学費と教育条件の公私間格差是正にむけて、私立高等学校への私学助成の充実を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	欠	可	
発議案 8	新潟水俣病全被害者の救済と問題解決に関する意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	可	

町政を問う!!

一般質問 (8議員)

- 1 半戸義昭 議員 (5 ページ)
1、廃村集落の今後と小集落の今後の支援策は
- 2 大平謙一 議員 (6 ページ)
1、町の人口維持策について
2、稲作振興について
- 3 中山弘 議員 (6 ページ)
1、観光展望について
- 4 風巻光明 議員 (7 ページ)
1、津南病院の今後の体制について
2、津南病院改築等建設計画について

- 5 藤ノ木浩子 議員 (7 ページ)
1、子供の貧困対策について 他 4 件
- 6 恩田稔 議員 (8 ページ)
1、晩婚化・未婚化問題について
- 7 栗原洋子 議員 (8 ページ)
1、観光事業への取り組みと発展への姿勢について
2、TPP を取り巻く情勢の中で批准反対を 他 1 件
- 8 石田タマエ 議員 (9 ページ)
1、重度障がい者対策について

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

故郷を守れ

問 廃集落となった横根集落には弘法大師ゆかりの石があり、

教育次長 他、地域からの要望は今のところないので教育委員会としては考えていない。

問 廃集落にかつての集落の在りようを示す看板を設置する考えはないか。

町長 基本的には、「集落のこ

とは集落で」が原則である。廃村地区に通じる道路においても、年一回の除草と春除雪を行ってある。廃村にならない取組が必要だ。財政上の問題もあり、今後廃集落の維持管理が可能かどうか慎重に考えていきたい。

見解を問う。

問 町内には、廃集落が何か所かある。自然を守り、故郷を守ることも、この地に住む者としてある意味責務と思うが

廃村集落と小集落の今後の支援策は



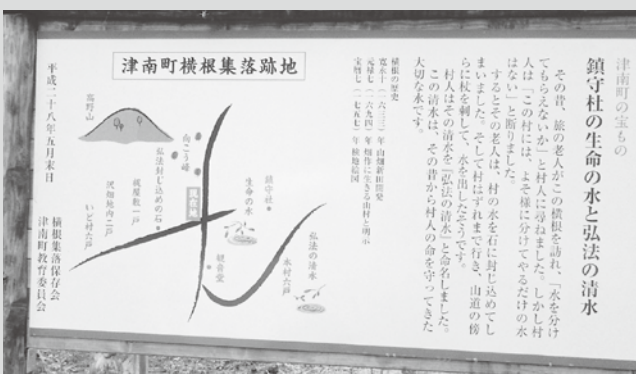
半戸義昭 議員

問 十日町市に限界集落と言われた状態から抜け出し奇跡の集落と言われている集落がある。様々な取組の結果であり、参考にする考えはないか。

町長 一つの参考事例としては有効と考える。また、地域の方々がどのように感じ望んでいるのか極めて重要なこと

教育次長 地元を懐かしむ強い思いがあれば協力したい。

日出山集落には妻有札所六十番観音跡地などがある。文化的要素からの保全の考えは。



横根集落の看板

町の人口維持策は



大平 謙一 議員

町後期基本計画の実行で人口維持はできるのか

問 町の人口減少が心配されるなかで兼業農家は地域の中核であり安定対策が必要。対策を伺う。

町長 兼業農家も専業農家と同様に町の農業の重要な担い手と認識している。27年度農業センサスによると農家総数1,506戸のうち、専業農家数261戸。第二種は614戸。兼業農家維持には雇用確保が課題。十日町地域雇用協議会ではハローワークと連携し、津南町の企業のみを対象に企業訪問を企画し、町内の企業の魅力を広く知ってもらい、一人でも多くの若者が町内に就労してもらえようように情報提供に取り組んでいる。今後、町内企業を知らない保護者向けの情報発信する方法を検討したい。

また、雇用拡大のための企

業誘致は厳しい。町内でも雇用拡大を図る企業もあるが町内若者の応募が少ないのが現状だ。

今後の稲作振興策は

問 後期基本計画で農産物売上55億円と目標に掲げ、売れるコメ作りや環境に配慮した生産をするとしているが、具体的取組みを伺う。

町長 有機・減減栽培に取り組むとともに、高い評価を受けている津南町認証米の作付拡大を図る。

問 津南ブランド強化のために町全体の草刈りなどを町が進められないか。

地域振興課長 全体は厳しい。



津南中等教育学校
卒業後の地元就業に期待

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

町の観光未来像と進路の舵取りは



中山 弘 議員

3セット観光は

問 信号の少ない国道117号と大河信濃川、更に今年の晩秋に走るSLは期待が大きく、飯山市と十日町市の連携が大事であるが考えは。

町長 風光明媚な日本の原風景が残る貴重な地域であり、飯山線沿線地域活性化協議会で魅力の発信に努めている。千曲川、信濃川中流域でのラフティングや、苗場山麓ジオサイトを巡るサイクリングツアーは体験型観光商品になり、レンタルサイクルで津南駅まで来て列車で帰っていただくのも考えられ、今後協議会で検討して行く。

新草津街道は

問 紅葉時、残雪時の景観を生かした、国道405号から秋山郷・志賀高原・草津と誘客ルートの見直しの考えは。

町長 奥志賀林道は年々整備

が進み、紅葉シーズンは津南側の緑、赤、奥志賀の落葉まで紅葉の移り変わりを楽しめる風景は魅力に溢れ、今後観光客も増えると思う。国道405号は道幅も狭く今後は整備の進捗に合わせ観光を考

ラフティング観光は

問 大溪谷の信濃川、未知数の中津川源流を利用した観光は、地元電力会社の協力で適時ダム放水が必要だが河川利用の考えは。

町長 信濃川では年々愛好者が増えており、PRなど民間事業者が支援する思いはある。中津川は水量も少なく危険箇所もあり、観光スポットで売り出すには慎重に検証しなければならぬ。



SL フォトスポット外丸

津南病院の将来の医療体制と建替えは



風巻 光明 議員

問 津南病院は発足し52年が経過。その間、少子高齢化が進み医療需要が変化してきている。特に外来受診者は年々減少し平成10年と比較すると6割となった。将来の医療体制をどのように考えているか。

町長 豪雪、へき地の自治体にとって地域医療の確立は重要なこと。住民ニーズと魚沼医療圏を見極めながら町民に必要な医療を提供していかなければならぬと考えている。

問 地域医療を維持するためには、病院の改革が必要。一般会計からの補助金にも限度がある。経営の効率化の施策は。

町長 病院だけが、国の診療報酬の制度により自ら料金を決められない。改善案は整形外科等非常勤医師の常勤化などを考えている。

病院の建替えは喫緊の課題だが

問 津南病院は老朽化と2度の

大地震に見舞われ不具合箇所が散見される。建設計画をどのように考えているのか。

町長 十日町病院など、圏域の病院が一段落した後に検討を考えている。

問 建設開始には10年程度のスパンが必要。建設費の返済は苗場山麓の償還金が終わる8年後であれば圏域の病院も目途がつく。その頃をターゲットにしてはどうか。

町長 病気を治すのは建物ではない。まず医師などのマンパワーの確保ができるか見きわめて考えていく。



病院3階の空いた療養病床・医療と介護の隙間を埋める事業を目指す

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

子どもの貧困対策の重要性



藤ノ木 浩子 議員

就学援助制度の援助率アップ対策を

問 国が発表した子どもの貧困率は24年度は16・3%で、6人に1人の子どもが貧困世帯となっている。年々増加してきている。子どもの貧困対策の重要性について、どう認識しているか。

町長 貧困対策の重要性は論を待たないところである。これまで医療費助成や就学援助など支援策を講じてきたが今後、国・県と一層協力し、更に行ける貧困対策を検討し、策を講じていきたい。

問 就学援助制度の援助率は県下最低である。せめて、県平均の10・78%まで援助率をアップする対策を。

教育長 必要な人すべてが受給できていない状況もあると受け止めている。各家庭への対応の工夫を進めるよう、各学校と連携を図っていく。



子どもたちの健やかな成長を願う(中津保育園運動会)

問 新入学準備金は3月支給にできないか。

教育長 実施自治体もあるもので、当町でも可能かどうか検討していきたい。

問 子育て世代の教育費の負担軽減は大きな要求である。学校給食費の無料化について町長の考えを伺う。

町長 学校給食費は年間約54,000円で、無料にすれば子育て世代は確かに負担軽減となる。全国でも無料化する自治体が徐々に増えている。軽々に結論を出さず、議論をし、方向を出したい。

晩婚化・未婚化に対する対策は



恩田 稔 議員

晩婚化に対する町の方向性は

問 定例会のたびに議論される人口減少問題である。晩婚化・未婚化もその要因の一つだ。4年前の調査でも独身者は800人超え、そのうちの70%以上が結婚を希望しているとの調査結果である。個人の問題であることは、否めないが、行政として後押しを考えるべきではないか。

町長 大きな問題として受け止めている。新潟県も専門の課を新設して婚活事業の取組を始めることや民間の結婚相談所の入会金を補助する自治体もあること等からみても、社会全体で考えなければならぬ。津南町もふれあいイベントの拡充と若い世代への婚活支援、情報発信と組織の連携強化を積極的に推進する。



スカイランタンを一緒にあげたイベント

後継者配偶者対策は

問 しあわせ♡応援隊（結婚相談員）の事業は農業施策の一つ、津南町後継者配偶者対策である。担い手育成が本来の事業目的であり、一般的な街コンとは異なる。婚活イベントも必要であるが、相手を探すだけの目的ではないコミュニケーションに変化に合わせることも検討すべきと考えるが。

町長 見直しが必要な時期と考えている。しあわせ♡応援隊との懇談会に、プロのカウンセラーやコンサルタントを交えることで、問題意識の形成の場とし、新年度に向け組織構築を考えてもいい。

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

主力観光ひまわり広場の今後は



中原理子 議員

事業拡大可能か

問 入込み客7万3千人を超えたひまわり広場は、今後も発展することを期待するが、観光協会や町行政への圧迫など見直しの必要性も感じる。駐車場整備・係も職員、シルバー、議員、協会員など多くのボランティアで支えている。また、職員は種まきなど現業労働にも出向く。担当課は手薄になり、業務に支障はないのか、また、事業拡大への取組は。

町長 非常に多くの人員を必要としている。準備に延べ100人、期間中延べ313人を用意している。ボランティアは些少でも有償にできないか検討が必要と考える。職員については心身共に健康維持と休暇体制が取れるよう人員管理が必要と考えている。事業拡大については沖ノ原台地は優良農地であり、情報収集するなかで可能か検討する。



大にぎわいのひまわり広場

TPP 批准反対を

問 町の農業、暮らしを壊すTPPに反対を言い続けてきた。TPPは大企業が食品の安全性や環境の規制を妨げるようになるなど、大企業に有利な仕組みである。政府は、中山間地対策を含む農業予算を大幅に増やすとしているが、認定農業者中心であり、差別選別と過疎化をさらに助長するものだ。町長の見解は。

町長 反対していない。我が町の農業に有益になるような批准のあり方であれば、反対する理由はないと思う。そうならないようなら反対しなればならない。

重度障がい者施策の構築を

生活介護・短期入所の 対策を



石田 夕マエ 議員

津南町総合振興計画の後期計画では、具体的には、地域活動支援センター「いこいの家」の建設事業が大きな施策となっている。当町では、軽度障がい者環境は整いつつあるが、重度障がい者対策についてはまだまだ整備がなされていない。該当者の少ない重度障がいの方々への対策として、日中利用する生活介護や、緊急時対応の短期入所については、小規模自治体として単独での施設整備は困難だと思うが、今後どのように構築していくのか。



建設中の「いこいの家」

また、近隣市町村の施設を利用する場合は、通所交通費の助成制度が始められようとしているが、重度障がいの方々には、ご家族の労力が大きな負担となっている。町内でサービスが受けられないのであれば、送迎手段に対して支援策が必要ではないか。

町長 当町では重度障がい者へ対応する施設が不足しているが、単一自治体での運営は難しい。現在は、十日町市等で入所や通所サービスを受けているのが実態である。

今後は、十日町の施設に津南町まで送迎サービスができないか具体的に協議検討する。また、現在実施している児童生徒の送迎委託との組み合わせも併せて検討する。

魚沼圏域の入所施設を希望するが、津南町だから入所できないような事例があるのであれば、私が矢面に立つ。

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

発議案

▼発議案1

津南町議会委員会条例の一部を改正する条例の提出について

【提出者】

議会運営委員長 中山 弘

平成27年11月10日改選後の全員協議会において、議会の中立性や議会審議を充実させるため、また4年は長すぎてマンネリ化になるおそれがあることなどから、議長の任期を2年とするところが、申し合わせ事項として決定されました。

それに伴い、常任委員の任期をどうするべきか、議会運営委員会でも検討してまいりました。委員の知識の発揚、委員会の活性化を図るために、常任委員の任期も2年とすることが望ましいとの判断から、条例改正の提出に至りました。

全員賛成で可決



▼発議案2

「介護離職ゼロ」に逆行するさらなる介護保険の負担と介護保険給付外しに反対する意見書の提出について

【提出者】 藤ノ木浩子

介護保険の2015年改定によって、要支援1・2の訪問介護、通所介護を保険から外し、特養ホーム入所要件を要介護3以上に限定するなどの重大な制度改正が実施されました。さらに厚生労働省は要介護1・2の通所介護を介護保険給付から外して地域支援事業に、要介護1・2の訪問介護の生活援助や福祉用具、住宅改修を原則自己負担に65〜75歳の利用料負担を原則2割にする法案を2017の通常国会に提出しようとしています。この厚生労働省の方針に対して、介護福祉の関係者は「独居や高齢者だけの世帯が増えている」、負担増となればサービスが必要なのに利用を控える高齢者が出る、そのため、介護度が重くなる恐れがあると危惧しています。

今求められているのは、大型公共事業「バラマキ」をやめ、国民生活に必要な社会保障の財源を最優先に確保し、介護離職ゼロの公約を守ることはもちろん誰でも安心して受けられるよう

介護保険制度を充実させ、介護職員の待遇も改善することです。

反対討論

石田タマエ

高齢社会を乗り切っていくためには安定した財源確保が求められる。要支援1・2のサービスの一部を予防給付から市町村事業へと移行したことは、画一的なサービスではなくその地域に合った支援の仕組みを各地域で構築していくための改正である。また、特養への入所要件が原則要介護3以上とされたことは、重度の要介護者を優先しようとするもので、入所施設を減らすということではなく「施設に入りたくても入れない」ということは別の問題だ。また、一定以上の所得者の負担を2割とし、たとえ1割でも負担が困難な利用者への軽減が拡大されたことは、互いに支えあう介護保険制度の真の目的に沿っている。公共事業は主に災害復旧や防災・インフラ整備で、いずれも生活には必要不可欠だ。特に地方経済への影響は大きい。財源確保のために公共事業を減らすということは考えられない。以上のことから、今意見書提出に反対する。

賛成多数で可決

請願陳情・意見書

請願

免税軽油制度の継続を求める請願

〔請願者〕

北陸信越山岳観光素
道協会新潟地区部会

〔紹介議員〕

津端眞一、恩田 稔

冬季観光産業の重要な柱であるスキー産業の発展に貢献してきた免税軽油制度(道路を走らない機械に使う軽油には軽油引取税を免除する)でありませんが、平成30年3月末で廃止される状況です。スキー産業では、索道事業者が使うゲレンデ整備車・降雪機械等を使う軽油が免税となっており、この制度がなくなればスキー・スノーボード等の冬季観光産業が大きな負担を強いられ、スキー場の経営維持が困難になるとともに、市町村経済にも計り知れない影響を与えることとなります。よって、国においては観光産業や農林水産業等への影響を鑑み、免税軽油制度の継続を要望するものです。

◆同発議案

↓ 全員賛成で可決

意見書を国に提出します

陳情

学費と教育条件の公私間格差是正にむけて、私立高等学校への私学助成の充実を求める意見書の採択に関する陳情

今日、全国では約3割の高校生が私立高校で学んでおり、公立高校と同様に公教育の場として大きな役割を果たしています。平成22年度より私立高校生への就学支援金制度が実施され26年度には制度の見直しによって加算支給額の増額及び支給対象世帯の拡大が行われ、学費の負担は一定に軽減されましたが、公立との学費格差を是正して行くためには一層の拡充が求められます。また、私立高校の専任教員の増員などの教育条件の向上を図るためにも経常経費への増額が不可欠であります。政府においては特断の措置を講じられるよう要望します。

◆同発議案

↓ 賛成多数で可決

意見書を国に提出します

陳情

新潟水俣病全被害者の救済と問題解決に関する陳情

- 1 新潟水俣病の早期解決に向けて、被害者・国・加害企業など関係者が一堂に会する話し合いの場を設けること。
 - 2 平成21年7月に成立した水俣病特措法の37条に定めている「阿賀野川流域住民の健康被害実態調査」を速やかに実施すること。
 - 3 潜在患者が名乗り出ることができるよう、環境整備をすること。
 - 4 昭和30年頃から昭和53年頃まで阿賀野川の魚介類を喫食した県外在住者らに新潟水俣病に関する情報が伝わるよう格別の取組を行うこと。
 - 5 水俣病特措法の異議申立を認めること。
- 貴議会において、国会並びに政府に対し、前記の事項について早急に取り組むよう求める意見書を提出されるよう陳情します。

◆同発議案

↓ 全員賛成で可決

意見書を国に提出します

東北の県外視察 レポート

美郷町の地域おこし視察

◆とき 7月19日(火)

◆ところ 秋田県美郷町

◆内容 美郷町は秋田県の東側に位置し、面積は津南町とほぼ同じです。人口は9千人ほど多く、農業でも「あきたこまち」の稲作が70%を占めています。また街並みのいたる所に清水が湧きでていて、名水の散策ができました。

美郷町では活力ある地域づくり事業として大きく分類すると、3分野に対しそれぞれ町単独で助成制度があり地域や産業の活性化を応援しています。

◆①地域づくり事業補助金

地域自治会に対し伝統行事や健康づくり活動、イベント等に補助金を交付しています。

◆②農業振興応援事業

ブランド品目応援、輸出拡大支援、特産物販売・拡大支援事業等があり、特に新規作物の取組みが増えています。

◆③商工関係支援事業

起業者総合支援、経営・雇

用支援促進、パッケージデザイン支援、首都圏セールス支援など数多くあり、きめ細やかな補助制度を行っています。地場特産物の販売額が増えています。

視察を終えて

美郷町はラベンダーの町としても有名ですが、今年は暖冬で私達が訪れた時はもう終わっていました。残念!!特にこの地方だけの白いラベンダーが咲き、町の花として「みさと白雪」と名づけています。この花からは酵母がとれ、お酒や味噌などに使っているそうです。地域おこしの取組みは、一つ一つの取組みについて補助金は少ないのですが、町民のやる気を起こす起爆剤として有効です。津南町も見習う点は多々ありました。

(担当 風巻光明)



葛巻町クリーンエネルギー視察

◆とき 7月20日(水)

◆ところ 岩手県葛巻町

◆内容 葛巻町では、平成11年に「新エネルギーの町・くずまき」を宣言し、各事業を推進してきました。主な内容は次のとおりです。

平成11年度

風力発電所3基設置稼働

平成12年度

中学校に太陽光発電システム導入

平成15年度

葛巻高原牧場に畜ふんバイオマスシステム導入

平成17年度

葛巻高原牧場に木質バイオマスガス化発電設備導入

平成21年度

介護施設にペレットボイラー導入

町内25カ所のコミュニティセンターに太陽光発電システムを導入

等々さまざまなクリーンエネルギー発電に取り組んでいます。町管理施設での電力自給率は160%でした。

視察を終えて

行政・議会・町民が気持ちを一つにして取り組んでいました。

山と森に囲まれた葛巻町は、「可能性」を知恵と熱意で実現してきました。見習うべきところが多くあった行政視察でした。

(担当 半戸義昭)



太陽光発電システム前
葛巻町 松村担当とともに

仙北市地域支援事業視察

◆とき 7月20日(水)

◆ところ 秋田県仙北市

◆内容 田沢湖やかたくり群生地、桜まつりなど年間500万人の観光入込み客があり、第3次産業が発展しています。特に地域活動支援制度については、①地域運営体の企画で先導モデルとされる事業に財政支援、②インバウンド誘致に積極的に活動するなど地域を支援している詳細を研修しました。

視察を終えて

観光・体験・交流活動を推進していることや、地域の取組み活動の提案に耳を傾け、積極的な財政支援施政は当町も一考すべきと感じました。

(担当 村山道明)

仙台市津波被災地視察

◆とき 7月21日(木)

◆ところ 宮城県仙台市

◆内容 東日本大震災から5年が過ぎ、津波で大きな被害を受けた若林区荒浜地区を訪れ、防災・減災に対する公共事業の進捗や市民生活の視察を行いました。

海岸で目についたのは、延々と続く防潮堤です。高さは驚くほどではないが、市内から見ると風景は変わったと思われ、また、海岸から市内に向けて走ると整備されていない農地、津波に破壊された住宅の跡地、多くの犠牲者が出た学校など震災当時のままです。ただ市内に入ると復興が進んでおり、震災があったことを忘れてしまうほど中心部はきれいな町になっていました。

視察を終えて

東北一の都市である仙台市でもまだこのような状況です。東北全体、特に中山間地の復興にはまだまだ時間がかかると感じました。早く震災前の生活に戻れることを祈るばかりです。

(担当 恩田 稔)



遠々と続く防潮堤

委員会レポート

総文福祉常任委員会

津南病院との懇談会

◆とき 8月22日(月)

◆ところ 津南病院会議室

4月から稼働を始めた訪問看護ステーションは、24時間体制にするには常勤看護師の増員が必要で、外来部門も同様の課題が報告されました。

2月から休床となっている空き病棟は、利活用検討委員会で

議論されていますが、病院施設の老朽化が全体に進んでおり、修繕等が多数発生しています。

入院患者の状況では、医療依存のある方が施設入所も在宅介護も困難であることから、一般病棟で長期の入院となっている現状です。また、診療報酬の改定によつて、一般病床の機能が問われ、業務量が増えていると同時に、看護へのモチベーションが低下するなど、報告されました。

懇談を終えて

津南病院にとつて医療の充実と経営改善は、何より医師・看護師の確保が重要と考えます。また、国の医療費抑制政策で、入院日数の短縮や職員の労働強化も感じられ、地域医療構想に対する姿勢も問われています。

(担当 藤ノ木浩子)



課題報告検討会

産業建設常任委員会

大割野商工協同組合との懇談会

◆とき 6月28日(火)

◆ところ 役場大会議室

◆内容 大割野商工協同組合と町議会産業建設委員会との懇談会が開催されました。商工業を営む参加者から商工業の現状、議会に対しての多くの要望・意見等が出されました。

第1回の25年4月の懇談会から3年経ち、その間商工店舗等6軒が閉鎖し、後継者対策が急務です。また、商店街の灯である街路灯の修繕の必要性が急がれるなど率直な意見が聞かれました。そして、町が進めている旧マルツネストア跡地の障害者施設の利便性、商店と農協との連携策、高齢者を含む顧客のデマンドバスの実態や改善策、今後進めなければならぬ空き店舗対策、改良を急がれる国道405号の歩道整備の進捗状況など、日々悩んでいる数多くの諸問題が議題に上がり、貴重な1時間半の懇談会でありました。

懇談を終えて

町議会として、10年15年先を見据えた政策を町行政と協同の中で国県と支援策を早急に進めなければと、各議員そんな思いの懇談会でありました。

(担当 吉野 徹)



要望懇談会

畑作・稲作作況調査

◆とき 9月2日(土)

◆ところ 町内各所

◆内容 稲作では J・A津南町関沢係長の案内で、卯之木の多収性品種「あきだわら」、正面原の出穂が早いコシヒカリ、堂平の元肥一発肥料圃場、反里口原の飼料米「新潟次郎」、赤沢の特裁米、大井平原の五百万石採種圃場、大井平「新

調査を終えて

新品種「新之助」は晩生品種で津南でも試験栽培しています。沖ノ原の雪下人参圃場までの農道除雪が大変という話があり、農家負担を考えると行政支援も必要と感じました。

(担当 栗原洋子)



作況調査

県に要望書提出

常任委員会では、建設事業の工事箇所を確認し、町と協議をして要望事項をまとめ、8月24日に新潟県十日町地域振興局地域整備部へ要望書を提出しました。



地域振興局にて

要望事項

- 1、一般国道117号の整備
- 2、一般国道405号の整備
- 3、主要地方道小千谷十日町津南線の整備
- 4、一般県道加用今新田停車場線の整備
- 5、一般県道中深見越後田沢停車場線の整備
- 6、一級河川釜堀川の河川整備
- 7、一級河川信濃川の堤防整備
- 8、急傾斜地崩壊対策事業の促進

(担当 大平謙二)

自治功勞表彰

6月30日に、長きにわたる町議会議員として地域の振興に尽力された3名の議員が、新潟県町村議会議長会より自治功勞者表彰を受けられました。

〔町議会議員〕

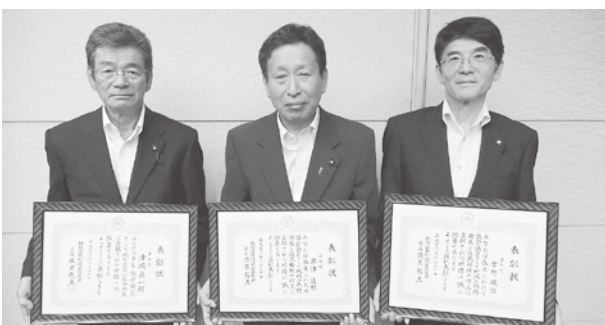
20年在職功勞者(特別表彰)

吉野 徹 議員

草津 進 議員

10年在職功勞者

津端 眞一 議員



左より表彰を受けられた津端議員、草津議長、吉野議員



町民登場

この人に会いました…



おか むら りつ こ
岡村 律子さん (大割野)

津南町を知り、町のホームページで初めて河岸段丘の風景を目にしたとき、なぜかとても懐かしく、不思議な感覚に包まれたことを今でもよく覚えています。その後、津南へ移り住むことになってから早いもので、この9月でちょうど12年です。

「白く重い雪に閉ざされる長い冬」「生命力に溢れた百花繚乱の美しい春」「太陽が輝き澄んだ青い空が近い色鮮やかな夏」「駆け足で過ぎてゆく静かで穏やかな空気」の錦の秋。天の川が普通に見えて、降るような星空を見上げた日の感激は忘れられません。

関東平野の真ん中で生まれ育った私にとって、四季に彩られた津南の豊かで美しい自然は、他の何にも代えがたい宝物だと思います。この自然の中でのびのびと育つ子どもたちを見守ることができるのは、とても有り難く幸せなことだと思います。

友人も知人も誰一人いない町で、戸惑いながら暮らした12年間を振り返ると、ここで出会った沢山のかたがたの顔が浮かびます。郷土料理を教えてくださいました方、孤独な子育てを励ましてくださいました方、「いつでも逃げておいで」と言ってくださいました方、声をかけてくださる方、仲良くしてくださいました方、などなど…「よそ者」の私を受け入れ、本当に優しくしてくださる津南の皆さん。その皆さんが支えてくださるおかげで、私は今も津南で暮らすことが出来ているのだと、本当に感謝しています。

これまでお世話になった皆さん、周りにいてくださる皆さん、そしてこれから出会うかもしれない方々。津南での出会いは、私の人生での宝物のひとつです。



ひまわり広場で汗流すスタッフ

夏の一大イベントである「ひまわり広場」は過去最高の入場者で賑わいました。町民一体の姿勢が成せる業だと思いますが、その陰で早朝暗いうちから活動している若者たちがいました。「ひまわりウエディング」のスタッフは町民にあまり知れていませんが、春夏秋冬と縁の下で頑張っています。冬の「スカイランタン」も同様で一つのイベントではなく「広大な農地」「白銀の大地」を知らしめ、農産物販売に大きな影響を及ぼしていると思われまます。(中山)

編集後記

